

地域交流型サロン(ふれあいサロン)助成金

2 えだまめキッズサロン

サロン運営団体 いばらき子どもの虐待防止ネットワークあい



2 水戸市



開催日及び開催頻度	
月1回(第4金曜日)	10:00~12:00
開催拠点	
代表者氏名	坂本 博之
1回の参加人数	
参加費(1人1回あたり)	0円
広報方法	
	<ul style="list-style-type: none"> ●チラシ(随時) ●HP(随時)

かるがも 多胎児サークル

多胎児を育てるお父さん・お母さん、妊娠中の方、多胎児に関わる全ての方のためのサークルです。

日時 毎月1回金曜日 10時~12時
場所 水戸市福祉ボランティア会館 実技研修室 (水戸市赤塚1-1 ミオス2階)

参加費 無料
※多胎児は妊婦健診時車中利用の方は駐車券をお持ちください。※妊婦さんにはお預けの荷物をお預けください。

【お問い合わせ・お申し込み】
認定特定非営利活動法人「水戸子どもの劇場」
〒310-0812 水戸市見川2-8-2-11
TEL: 029-225-2550~0909
(土日祝日除く10時~17時まで)
E-mail: peki_jcs10@trus.ecn.ne.jp
URL: https://m107okidomo.jp/venue/107/

【協力】認定特定非営利活動法人
いばらき子どもの虐待防止ネットワークあい
オンライン電話相談 029-309-7070

このサロンは「誰かのために募金」助成金により実施します
後援 水戸市

開催地域の様子

- 産婦人科の減少と産婦人科開業医が多胎児を診察しなくなったために相談の場が少なくなっています。

サロンに取り組む動機・サロンの将来像

- 多胎児を持つ親のストレスは通常の親以上に大きく、昨年には母による虐待死事件が起きています。少しでも親の精神的負担を軽減したいです。
- 将来的には、不用育児用品の交換も行いたいです。子どもが大きくなって時間にゆとりができた方には、ファシリテーターとして活動ができるよう人材育成を行い、運営に参加してもらいたいです。

サロン運営上の協力者

- 水戸市保健センター
- 会員の小児科医
- 弁護士 など



運営費の確保方法

- 寄付金の募集
- 物品(菓子・飲み物等)の寄付募集



連携先・協働先

- 社会福祉協議会…会場の提供、チラシの配布
- 水戸市保健センター…対象者の紹介、チラシの配布
- 産婦人科病院…チラシ配布
- フードバンク…ミルク、離乳食等の提供
- イオンモール…日用品、事務用品の提供、広報



サロンのウリ

- 開催場所は水戸市福祉ボランティア会館を確保、電車・バス・自家用車ででも便利。参加者は情報交換、育児の悩みの話し合いを望んでいるのでフリートークを中心にしています。



コロナ禍でのサロン活動について

- 会場が感染防止のため閉鎖となったため、3月~6月まで活動を中止しました。
- 利用者がほぼ入れかわるため、2020年度から「水戸子どもの劇場」との協同事業とし、名称も「多胎児サークルかるがも」とし、2021年度からは「水戸子どもの劇場」が運営主体となる予定です。



◆助成金の活用によりパワーアップした活動

- ◆サロン活動で使える豆知識
- ◆サロン活動の醍醐味

など、これからサロン活動を予定している方へのメッセージ



- 助成金の活用によって、開催地を増やすことができました。
- サロン活動で主催者が注意しなければいけないことは、主催者の思いが参加者の負担にならないようにすること、参加者の主体性を大切にすることだと思います。
- 参加者は様々な経験をしており、考え方、感じ方も一人一人違うということを認めて運営していくことの大変さと、大切さを感じます。

